



くすくすくん（県立図書館マスコット）

令和5年9月12日
佐賀県立図書館 郷土資料課
担当者 本多、金沢
内線 3711 直通 0952-24-2900
E-mail: toshokan@pref.saga.lg.jp

シンポジウム「坊所鍋島家文書を読みなおす—成立期の
佐賀藩と江戸幕府—」の参加者を募集します

佐賀県立図書館は、令和4年度から、東京大学史料編纂所や県内の研究者などと共に「坊所鍋島家文書研究会」を結成し、館蔵の歴史資料を素材とする共同研究を実施しています。その活動の中間報告として、佐賀藩成立期をテーマとする歴史シンポジウムを下記のとおり開催します。

たくさんの御応募をお待ちしております。

記

- 1 日 時 令和5年11月11日（土曜日）13時～16時（12時30分開場）
- 2 会 場 ホテルニューオータニ佐賀（佐賀市与賀町1-2）
- 3 報告者及び演題
 - (1) 基調報告
小宮木代良（東京大学史料編纂所教授） 「坊所鍋島家文書研究の意義」
 - (2) 個別報告
 - ① 及川 亘（東京大学史料編纂所准教授） 「鍋島勝茂の佐賀藩継承」
 - ② 田久保佳寛（小城市教育委員会） 「初代小城市藩主鍋島元茂の江戸詰め」
 - ③ 伊藤昭弘（佐賀大学地域学歴史文化研究センター長） 「鍋島勝茂の鷹狩」
- 4 参加費 無 料
- 5 参加定員 100名 （事前申し込みが必要、応募多数の場合は抽選）
- 6 参加申し込み要領
 - (1) 申し込み期間 令和5年9月15日（金曜日）～10月15日（日曜日）
 - (2) 申し込み方法 ウェブフォームまたは往復はがきによる申し込み

①ウェブフォーム（9月15日公開）

右の二次元コードまたは下記の URL からフォームに入力してください。 URL <https://logoform.jp/form/jbBd/286776>



②往復はがき

往復はがきの宛名面に下記の申し込み先を、往復はがきの裏面に参加希望者（1通につき1名）の氏名・郵便番号・住所・電話番号を書いて郵送してください。※10月15日（日曜日）消印有効。

〈申し込み先〉

〒840-0041 佐賀市城内2丁目1-41 佐賀県立図書館 郷土資料課

(3)参加決定 10月末日までに応募者全員に参加の可否をメールまたは郵送で通知します。

7 主催 佐賀県立図書館、東京大学史料編纂所

8 共催

- ・科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)研究課題「近世初期大名発給無年号文書群の研究資源化—佐賀藩家臣坊所鍋島家史料を対象として—」(研究代表者 小宮木代良)
- ・東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究「近世大名家臣家史料の『読み直し』と研究資源化」(研究代表者 小宮木代良)

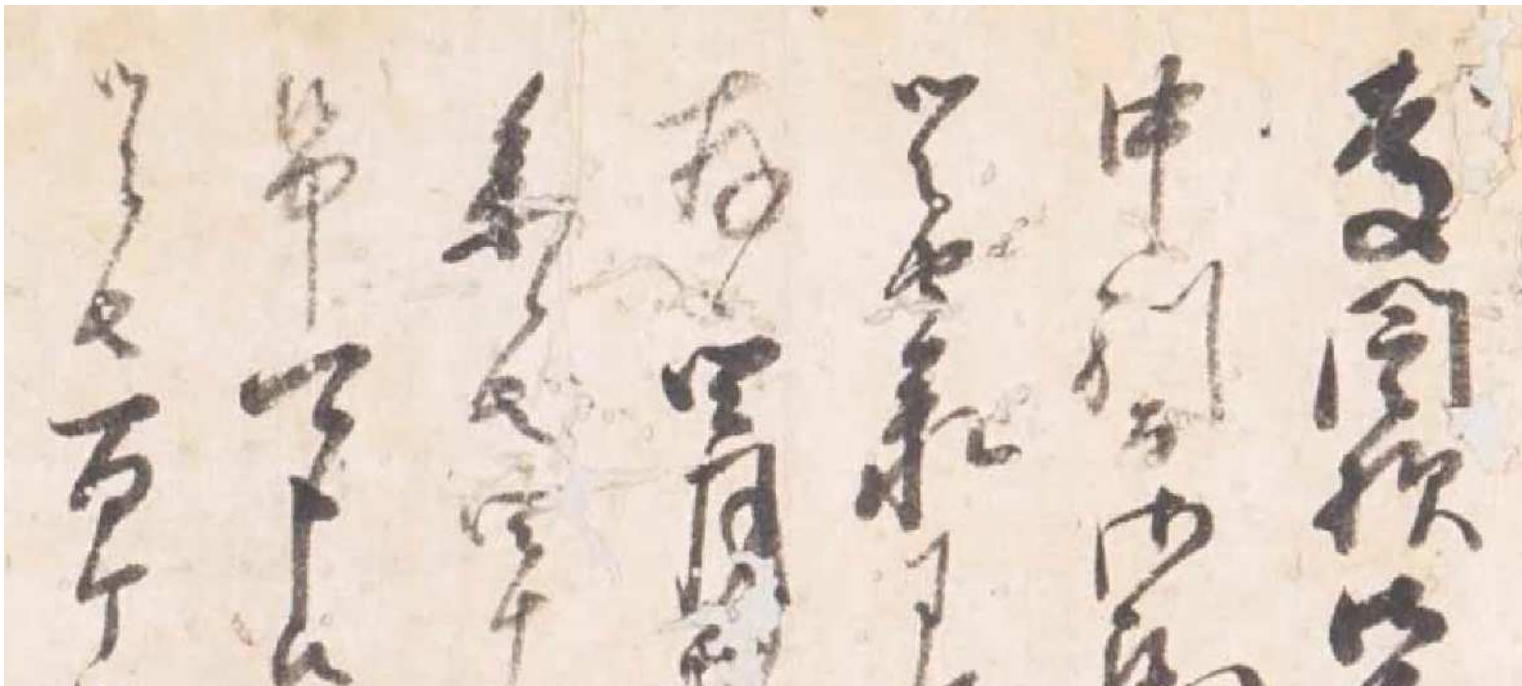
9 後援 佐賀大学地域学歴史文化研究センター

〔参考〕 坊所鍋島家とは

佐賀藩の上級家臣(家老格)。鍋島直茂なおいげのいところにあたる鍋島周防守清虎すおうのかみきよとらを祖とし、清虎の子道虎みちとら(生三しょうさん、天文22[1553]~寛永6[1629])が三根郡坊所(現・上峰町)を中心とする旧族姉川氏の遺領を継いだため鍋島周防家・姉川家ともいう。

鍋島道虎は、母方をたどれば直茂のいところにもあたる。出家していたが、直茂が補佐役を探していた時に推挙されて出仕したという。領内の検地や財政運用など重要案件に携わり、龍造寺高房りゅうぞうじたかふさの死後、鍋島勝茂が名実共に佐賀藩主となった後は藩政の中枢に参画した。

そのため坊所鍋島家資料(佐賀県立図書館所蔵、総数約4000件)には、佐賀藩成立期の内情を物語る、直茂や勝茂が道虎に宛てて出した書状などが数多く残っている。



シンポジウム

坊所鍋島家文書を読みなおす

成立期の佐賀藩と江戸幕府

佐賀県立図書館は、令和4年度から、東京大学史料編纂所や県内の研究者などと共に「坊所鍋島家文書研究会」を結成し、館蔵の「坊所鍋島家資料」を素材とする共同研究を実施しています。その活動の中間報告として、佐賀藩成立期をテーマとする歴史シンポジウムを開催します。

日時 令和5年11月11日(土) 13時～16時 12時30分開場

場所 ホテルニューオータニ佐賀 (佐賀市与賀町1-2 「辻の堂」バス停より徒歩2分・「県庁前」より徒歩8分)

定員 100名 ※事前申し込みが必要です

主催 佐賀県立図書館・東京大学史料編纂所

聴講無料

共催 科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)研究課題「近世初期大名発給無年号文書群の研究資源化 -佐賀藩家臣坊所鍋島家史料を対象として-」(研究代表者 小宮木代良)
東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究「近世大名家臣家史料の『読み直し』と研究資源化」(研究代表者 小宮木代良)

後援 佐賀大学地域学歴史文化研究センター

◎ 参加をご希望の方は、ウェブフォームまたは往復はがきでお申し込みください。(詳細裏面)

◎ 申し込み期間：令和5年9月15日(金)から10月15日(日)まで (郵送の場合は当日消印有効)

Copyright © 2023 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

佐賀県

問い合わせ先：佐賀県立図書館 郷土資料課 TEL 0952-24-2900

報告者紹介

基調報告「坊所鍋島家文書研究の意義」

こみやま によら
小宮木代良 東京大学史料編纂所教授

1960年佐賀県生まれ。1986年から東京大学史料編纂所で『大日本近世史料』や『大日本史料』第十二編の編纂に従事。研究テーマは、近世政治史、江戸幕府の記録類など。



報告①「鍋島勝茂の佐賀藩継承」

おいかわ わたる
及川 亘 東京大学史料編纂所准教授

1970年大阪府生まれ。1996年から東京大学史料編纂所で『大日本史料』第十二編の編纂に従事。研究テーマは、中近世移行期の研究、公儀普請の研究、南都薬師寺の研究など。



報告②「初代小城藩主鍋島元茂の江戸詰め」

たくぼよしひろ
田久保佳寛 小城市教育委員会文化課副課長

1970年佐賀県生まれ。1999年から小城町立*歴史資料館・中林梧竹記念館にて同館の運営に携わる。研究テーマは、小城地域の近世史・近代史、古文書の解読。 ※2005年から小城市立



報告③「鍋島勝茂の鷹狩」

いとう あきひろ
伊藤昭弘 佐賀大学地域学歴史文化研究センター長

1971年長崎県生まれ。2006年から佐賀大学地域学歴史文化研究センターで佐賀藩の研究に従事。研究テーマは、藩政史、経済史。



コーディネーター 本多美穂（佐賀県立図書館）

申し込み方法

●ウェブフォーム(スマートフォン・パソコン・タブレットなど)での申し込み

- 右の二次元コードまたは下記のURLからお申し込みください。
URL: <https://logoform.jp/form/jbBd/286776>
- 1回の入力で1名のみお申し込みいただけます。
- 受付完了及び参加の可否をメールでお知らせしますので、次のドメインからのメールを受信できるように、あらかじめ設定しておいてください。「@logoform.st-japan.asp.lgwan.jp」「@pref.saga.lg.jp」
- シンポジウム終了までは、応募時のメールアドレスを変更しないでください。



●往復はがきでの申し込み

- 1通につき1名のみお申し込みいただけます。
- 往復はがきの宛名面に下記の申し込み先、往復はがきの裏面に申し込む方の①氏名 ②郵便番号 ③住所(郵便物が届くよう正確に) ④電話番号 を書いて郵送してください。

〈申し込み先〉 〒840-0041 佐賀市城内2-1-41 佐賀県立図書館 郷土資料課 宛

- 返信用はがきには、宛名面・裏面共に何も書かないでください。

《注意事項》 下記の事項をご了解のうえご応募ください。

- 応募者多数の場合は抽選となります。参加の可否は10月末日までに応募者全員に通知します。
- 会場は全席自由です。聴講は無料ですが、事前申し込みをされていない方は参加できません。
- 報道機関を除き、会場内での写真撮影・録画・録音はお断りいたします。
- 駐車場には限りがあります。来場の際は公共交通機関をご利用ください。会場は「辻の堂」バス停から徒歩2分です。

募集の際に得られた個人情報は、このシンポジウムに関することのみ利用し、それ以外の目的には使用いたしません。